

第1回

地区別ワークショップレポート

令和元年 10月 28日

荒尾市総合計画審議会 資料

【荒尾地区で出た主な資源】



荒尾地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

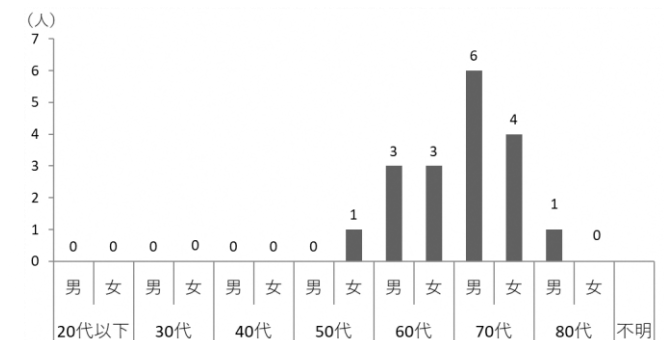
【荒尾地区】

日時：8月20日（火） 18時30分～

場所：東宮内公民館

参加者数：18名

【荒尾地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

荒尾地区の困りごと

【なり手不足】

- ・役員のなり手がいない
- ・自治会行事の参加者が少ない、固定化している
- ・子ども会の参加が少ない、入らない人がいる
- ・新規参入者が自治会に入りづらい

【コミュニティ】

- ・地域コミュニケーションの形成手段がない
- ・班ごとのルール、交流がない
- ・若い人が参加しない
- ・地域の祭りがなくなって寂しい

【環境】

- ・イノシシが出没し、通学が危ない
- ・野犬がでる
- ・ゴミ収集場所がカラスに荒らされている
- ・駅からのアクセスが悪い

【空き家・空き地】

- ・空き地が活用されていない
- ・雑草や樹木が管理されていない
- ・空き地の雑草が多い

【その他】

- ・平井精密付近のカーブミラーが見えない
- ・ゴルフ場と隣接する道の除草
- ・車がないと買い物が大変
- ・道徳意識が低い
- ・イベントのアイデアが悪い
- ・バスの路線、ダイヤが少なく高齢者が免許返納しにくい
- ・公共の乗り物が利用しにくい
- ・車のマナーが悪い
- ・葬儀屋の代金が高い
- ・店が減った
- ・荒尾二造の市立資料館がない
- ・沿岸道路の渋滞
- ・宮崎兄弟生家の表示がわかりにくい、孫文の表記がほしい
- ・海を開放してほしい（イベントに使いたい）

荒尾地区の自慢

【自然。花がいっぱい】

- ・グリーンアベニュー
- ・大イチョウ
- ・熊野神社のソテツ
- ・シュロの木
- ・自転車道路の桜の木

【歴史史跡】

- ・宮崎兄弟生家
- ・浄業寺の鎌倉時代の墓標
- ・熊野神社の子ども神楽
- ・二造資料館

【地域の連携】

- ・地域行事への参加が多い
- ・いきいきサロンが多数ある
- ・小中学生の参画が多い
- ・子どもサロン
- ・学校と地域の連携が多い
- ・もともと連携の素地がある
- ・自治会加入率が高い（東宮内は98%）
- ・中学生のボランティア活動
- ・公民館活動が盛ん

【地域イベント】

- ・音と光の祭典がある
- ・荒尾漁協のマジャク釣り大会
- ・どんどや

【施設】

- ・荒尾市民病院
- ・グリーンランドが近い
- ・潮湯
- ・シンボル階段
- ・屋形山展望台
- ・自転車道路がある
- ・飲食店が多い
- ・おかち山ウォーキングコース
- ・認証カフェあおば

【その他】

- ・災害が少ない
- ・海産物・農産物が多い
- ・広大な空き地が活用できる
- ・コイがいる
- ・ホテル
- ・防犯用外灯が充実

【荒尾地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】荒尾地区の課題と自慢

【荒尾地区の課題】

1. 安全でない

- ・空き家の増加、放置が多い（3）
- ・雑草増加の原因になっている
- ・捨て猫、捨て犬が多い（3）
- ・イノシシがでる（2）

2. 自治会への参加が少ない

- ・自治会役員のなり手が少ない（2）
- ・イベント参加者が少ない
- ・特に若者の参加が少ない

3. 地域資源が活用されていない

- ・宮崎兄弟生家の表示がわかりにくい
- ・空き地が活用されていない

その他

- ・バスのダイヤが少なく、免許返納支援もない
- ・燃えるゴミの収集場所が汚くなっている

【荒尾地区の自慢】

1. 誇れる資源がある

- ・宮崎兄弟生家がある（3）
- ・海（マジャク釣りなど）（2）

2. 地域活動が盛ん

- ・花いっぱい運動（グリーンアベニューや花の道プロジェクト）を頑張っている（3）
- ・音と光のプロジェクトなど地域活動が盛ん
- ・公民館活動が盛ん

3. 環境がいい

- ・外灯が充実
- ・飲食店が多い
- ・自転車道路がある

その他

- ・高齢化率26.1%（市内12位）

【万田地区で出た主な資源】



万田地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

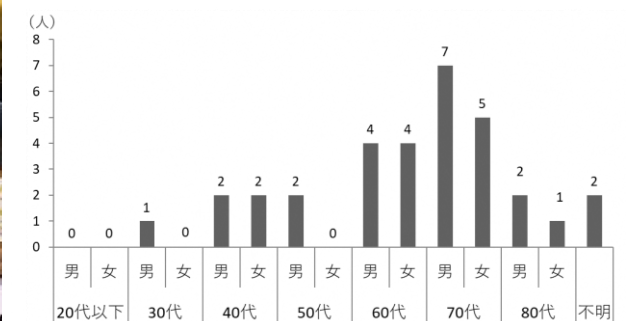
【万田地区】

日時：8月24日（土） 16時～

場所：メディア交流館

参加者数：32名

【万田地区の参加状況】



万田地区の困りごと

【荒尾駅】

- ・階段しかなく、長くて急で危険
エレベーター、エスカレーターがない
- ・東口を設置してほしい
- ・プロローグ広場の街灯が消え暗く怖い、防犯カメラがほしい

【地域のつながり】

- ・プロローグ広場の草刈り、花壇の水やりなど参加しない人がいる、参加者が少ない
- ・側溝の掃除ができていない
- ・自治会加入者の減少、特にアパート住民など
- ・自治会役員、民生委員のなり手不足
- ・四ツ山地区は、老人会、子ども会、婦人会の加入者が減っている
- ・独居者への対応が遅い。民生委員が来ない
- ・近所の一人暮らし女性から、一日に何度も妻に電話があり、困っている
- ・一人暮らしが多く、子どもは少ない

【環境】

- ・空き家、空き地の増加と雑草問題
- ・野良猫、犬へのエサやり、増加、フンの悪臭
- ・犬のフンの始末をしない飼い主
- ・夜中の車のドアの開閉音やエンジンかけっぱなしの音がうるさい
- ・夜中に、他の地域からリサイクルゴミを持ち込む、分別しない、雨の日に新聞を出す、地域外から持ち込むなどのルール無視
- ・ゴミの不法投棄
- ・家の前の草を切らない

【不便】

- ・バスが少ない
- ・免許を返納したら不便
- ・新大牟田駅や新玉名駅へのアクセスが悪い
- ・歩いて行ける範囲にお店がない
- ・土日に開いているお店がない
- ・日の出は公民館がなく、地域高齢者が集うサロンがほしいが、場所がない
- ・子どもの遊び場がない
- ・公園でサッカーをしたい
- ・道路拡張のために土地を譲らないので広くならない

【安全】

- ・赤信号が長い場所がある
 - ・歩行者が横断歩道を通らない
 - ・横断歩道で車が止まらない
 - ・国道208号と西側への立体交差がほしい
 - ・国道208号万田西交差点花壇に、事故に備えた消火栓を設置してほしい
 - ・車のスピード出し過ぎ（大島4丁目内）
 - ・家屋解体のトラックが積み荷を散乱させている（大島4丁目内）
 - ・空き巣が心配
 - ・街灯が少ない
 - ・防犯灯が雷で3カ所消えた時、役所に電話したが対応してもらえなかった
 - ・夜中にバイクが暴走している
 - ・踏切、駅がある地域で、事故、犯罪が起きやすく、交番がある
 - ・子どもたちの登下校時の防犯が課題
- ※防災
- ・四山の車道の下は、ハザードマップでも危険箇所となっている
 - ・避難する時の要支援者の情報がない
 - ・年に1回、通学路も含めて水に浸かる

【その他】

- ※企業誘致
 - ・子どもが増える、残るための企業誘致
- ※お金
 - ・年金が少ない
 - ・給料が少ない
- ※その他
 - ・沿岸道路に行くトラックの運転手さんがお金を使ってくれる場所がない
 - ・市役所に電話しても、電話を取った職員が名乗らない
 - ・競馬場の跡地利用が心配
 - ・肥料工場からの臭い
 - ・病児保育の利用がしにくい、高い

万田地区の自慢

【展望、景色、花、環境】

- ・有明海の夕日、干潟、干潟のマジャク
- ・日の出公園の桜がきれい
- ・小学校入口の桜並木がきれい
- ・荒尾港からの眺めがいい
- ・国道208号万田西交差点花壇が美しい
- ・宮島神社は静かで桜がきれい
- ・四ツ山公園の展望や桜
- ・島原半島、雲仙の眺め
- ・荒尾駅（花壇）
- ・バラ園とホテル
- ・万田小学校
- ・旧二中グラウンド 多目的グラウンド

【神社とお祭り】

- ・西原神社（西原大神宮）
子どもの神様、子ども御輿
- ・こくぞさん（四ツ山神社）の祭り
- ・宮島神社（秋の大祭）
- ・えびす祭りがある
- ・西原町に夏祭りがある
- ・住吉神社
- ・三宝神社

【海達公子】

- ・詩碑、墓碑

【便利】

- ・郵便局、銀行、大規模小売店、荒尾駅、交番、自動車学校がある
- ・上下水道完備
- ・飲食店が多く、美味しい飲食店が多い

【人の良さ、地域のつながり】

- ・町内会と子ども会が仲良く、地域の人たちが声を掛けてくれる、小中学生の挨拶が気持ちいい
- ・子どもがたくさん遊びに来る、子どもたちが多い、遊ぶ姿がうれしい
- ・歩こう会、体操、高齢者サロン
- ・民生委員の欠員が少ない
- ・婦人会、老人会がある
- ・人材が多い

【その他】

- ・南新地の開発
- ・人口が増加している地域がある
- ・企業が多い
- ・自然災害が少ない

【万田地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】万田地区の課題と自慢

【万田地区の課題】

1、荒尾駅

- ・階段しかなく、長くて急で危険、エレベーター、エスカレーターがない
- ・東口を設置してほしい
- ・プロローグ広場の街灯が点いておらず暗くて危険、防犯カメラがほしい

2、地域のつながり

- ・地域活動参加率の低下
- ・自治会加入率の低下、役員のなり手不足（自治会加入率72.8%、市内10位）
- ・老人会、子ども会、婦人会参加者減少
- ・公民館等の集える場所がない

3、環境

- ・空き家、空き地と雑草問題
- ・野良猫の増加、エサやりやフンの問題
- ・ゴミの分別等のルール遵守

【万田地区の自慢】

1、お祭りが多い

- ・こくぞさん（四ツ山神社）
- ・えびす祭り
- ・宮島神社（秋の大祭）
- ・日の出町内会仲よし保育園夏祭り、秋祭り

2、展望や景観、名所

- ・有明海の夕日
- ・四ツ山公園の展望
- ・有明干潟
- ・桜の名所が多い

3、開発と利便性

- ・郵便局、銀行、大規模小売店、荒尾駅、交番、自動車学校などがある
- ・飲食店が多い
- ・開発が進み人口が増えている地区がある

【各グループで出たご意見の内容】

万田中央地区の困りごと

【地域のつながり】

- ・自治会活動への参加者やスタッフが減少している
- ・自治会加入者の減少や、会議等への参加が少ないため地域のコミュニケーションがうまくとれない（特に転入者やアパートの住民）
- ・高齢化で自治会班長をする人がいない
- ・老人会と他の会の仲が悪く、話し合いにならない

【暮らしの不便、不自由】

- ・スーパー（マミーズ）がなくなったので不便になった
- ・商店の種類が偏っている、コンビニがない
- ・公共の乗り物の運行回数が少ない
- ・独居高齢者の買い物、ゴミ出し、リサイクル品出し、草取り、大工仕事

【安全、防犯】

- ①道路交通
- ・通学時の安全確保ができていない。車が多い、道が狭い
- ・旧三小～旧五中の道路が狭く、通る子どもたちが心配。通学時の安全確保が課題
- ・除草、公園と道路わきの木の枝が伸びすぎ、道がくねくねしていて見通しが悪い
- ・道が狭いのにスピードを出す車が多い
- ・万田踏切の閉鎖時間が長い

②防犯、街灯

- ・街灯が暗い、少ない
- ・万田小の通学路の草刈りがされていない

【環境（空き家、空き地、雑草、動物）】

- ①空き家、空き地
- ・空き家、空き地の管理がされていない（雑草、木の管理、猫等の増加）

②道路や公園

- ・公園の管理が行き届いていない。（ブランコのサビ、雑草）
- ・大木があり、電波の入りが悪い
- ・ゴミのポイ捨て

③動物

- ・イノシシが出る
- ・野良猫が多い、猫のフン
- ・ゴミ出しの時のカラス
- ・ゴミ出しのカラス

⑤その他

- ・庭の草刈り
- ・がけ崩れで家が傾いた
- ・セールスの電話が多い
- ・コンテナハウスの運営者が足りない。使い方を考えずに作られ、行政が丸投げにしている
- ・業者が敷地内に勝手に入ってくる
- ・中学校が遠い

万田中央地区の自慢

【史跡など】

- ・田次郎丸
- ・権現さん
- ・妙見さんの石
- ・妙見さん近く、花がきれい
- ・古い地藏さん
- ・炭鉱遺産
- ・万田山（袴獄城 城跡がある）

【自然、景観など】

- ・万田山の四季の風景
- ・万田山登り口
- ・ウォーキングロード
- ・フラワーロード
- ・トンネルの風景（映画にも出た）

【その他】

- ・新興住宅に若い人が多い

【施設】

- ・コンテナハウス
- ・障害者施設
- ・なかよしの森保育園
- ・消防小屋
- ・体育館
- ・有働病院
- ・ロックタウン
- ・有明プラザ
- ・火葬場

【万田中央地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】万田中央地区の課題と自慢

【万田中央地区の課題】

1. 地域のつながり

- ・地域のコミュニケーションがうまくとれない
- ・地域行事の参加者、スタッフが少ない（2）
- ・古い住民の、新規居住者に対する感謝がない（2）
- ・自治会に加入する人が減少（2）
- ・高齢化で自治会の班長をする人がない（高齢化率33.8%/市内8位）

2. 暮らしの不便

- ・スーパーがなくなったので不便（2）
- ・商店が偏っている、コンビニがない
- ・公共の乗り物の運行回数が少ない

3. 空き家、雑草問題

- ・空き家、空き地の管理が行き届いていない（2）
- ・持ち主不明の土地がある（管理者がいない）
- ・大木があり、電波の入りが悪い

4. 安全

- ・通学時の安全確保ができていない
- ・除草、公園と道路わきの木の枝が伸びすぎ、見通しが悪いので交通事故の可能性がある

その他

- ・独居高齢者の買い物、ゴミ出し、リサイクル品出し、草取り、大工仕事が不便

【万田中央地区の自慢】

1. 史跡が多い

- ・城跡
- ・田次郎丸の史跡
- ・妙見さん、権現さん

2. フラワーロード（2）

3. 施設

- ・コンテナハウス、体育館、グラウンド（2）

その他

- ・万田山からの景観
- ・万田坑

【井手川地区で出た主な資源】



井手川地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【井手川地区】

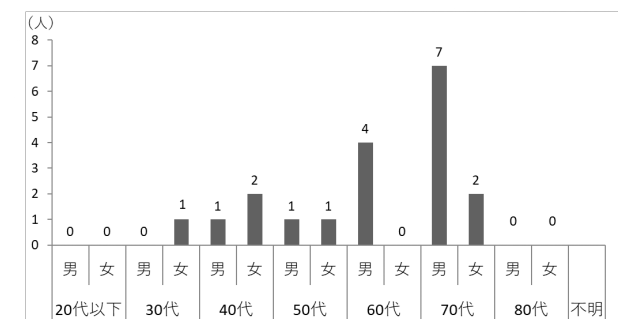
日時：8月28日（水） 18時30分～

場所：社会福祉協議会会議室

参加者数：19名



【井手川地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

井手川地区の困りごと

【コミュニティ】

- ・子供会がない
- ・1人暮らしが多い
- ・老人会や婦人会が少ない
- ・学校、子どもの進学先が少ない
- ・気軽に集るイベントや場所がない
- ・イベントを開催しても、参加者が少ない
- ・人と人が交流する機会が少ない
 - 子育てが大変そう
 - 技術が継承されない
- ・地元住民が行事に無関心

【人材】

- ・地域役員のなり手不足
- ・就職先が少ないので、若い人も少ない
- ・高齢化 ・ 少子化
- ・人口減少が著しい

【空き家】

- ・空き家が多い・空き地が多い

【危険】

- ・竹林の竹が道に出てきて危険
- ・見通しが悪い道がある。
 - カーブミラーがほしい
- ・通学路が危ない。木が外灯をふさいで暗い

【不便】

- ・買い物が不便
- ・ゴミ出し。大通りに持っていく必要がある
- ・団地のアクセスが悪い、災害時に心配
- ・交通の便が悪い
- ・学校等のアクセス
- ・運転免許返納後の交通手段がない
- ・池黒池に抜ける山道の再開希望
- ・三差路の渋滞
- ・狭い道が多く、救急車両が通れない
- ・排水路の水はけが悪い

【樹木の管理】

- ・道路の木や森の木が繁っている
 - テレビの映りが悪くなる
 - 溝に溜まり掃除が大変
 - 外灯を覆って、暗い
- ・万田フラワーガーデンの整備
- ・草が繁り過ぎている家がある
- ・万田公園の整備

【その他】

- ・カラスが多い
- ・深瀬三差路先の山から水が噴き出す
- ・野良犬が多い ・ ゴミ屋敷がある
- ・三ノ宮神社の諸問題（維持管理費、保険金支払い）
- ・子どもの遊ぶ場所が少ない

井手川地区の自慢

【地域環境・自然】

- ・花がたくさん、きれい
- ・蛍が生息している
- ・ウォーキングコースがある
- ・車が混まない ・ 森がある
- ・万田山 ・ 成田山 ・ 街がきれい
- ・スクールバスがある地域がある
- ・花火がよく見える
- ・深瀬が丘美術館を巡るコース
- ・街が静か ・ 鯉がいる
- ・深瀬が丘団地の環境が良い

【人材・地域活動】

- ・いきいきサロン ・ 子供の見守り
- ・認知症徘徊訓練をしている
- ・地区協議会で地域の祭りを開催
- ・お雛祭り
- ・技術や知識を持った人材が豊富
- ・子どもの仲が良い
- ・三役が良い

【施設】

- ・万田坑
- ・三ノ宮神社、鳴き龍
- ・グリーンランド
- ・体育館など活動場所がある
- ・万田公園 ・ 松嶋からあげ
- ・コンビニ ・ 郵便局
- ・バスが通っている、バス停がある
- ・ケアハウスや老人ホームがある
- ・薬師堂
- ・石人像 ・ えびす神社
- ・古墳 ・ 高専が近い
- ・買い物に行きやすい（古庄原）

【井手川地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】井手川地区の課題と自慢

【井手川地区の課題】

1、人材不足

- ・就職先が少ないので、若い人が少ない
- ・少子化
- ・高齢化（高齢化率39.3%／市内1位）
- ・住民が地元行事に無関心
- ・人と人との交流の機会が少ない
- ・地域役員のなり手不足

2、不便

- ・買い物が不便（2）
- ・団地のアクセスが悪い、災害時等心配
- ・ゴミ出しが困難
 - 大通りに持っていく必要がある
- ・学校等へのアクセス

3、安全でない

- ・通学路が危ない
 - 木が外灯をふさいでいて暗い

その他

- ・三ノ宮神社の諸問題
- ・子供が遊ぶ場所がない
- ・万田公園整備

【井手川地区の自慢】

1、世界遺産がある

- ・万田坑<世界遺産>（4）
- ・三ノ宮神社 鳴き龍（3）

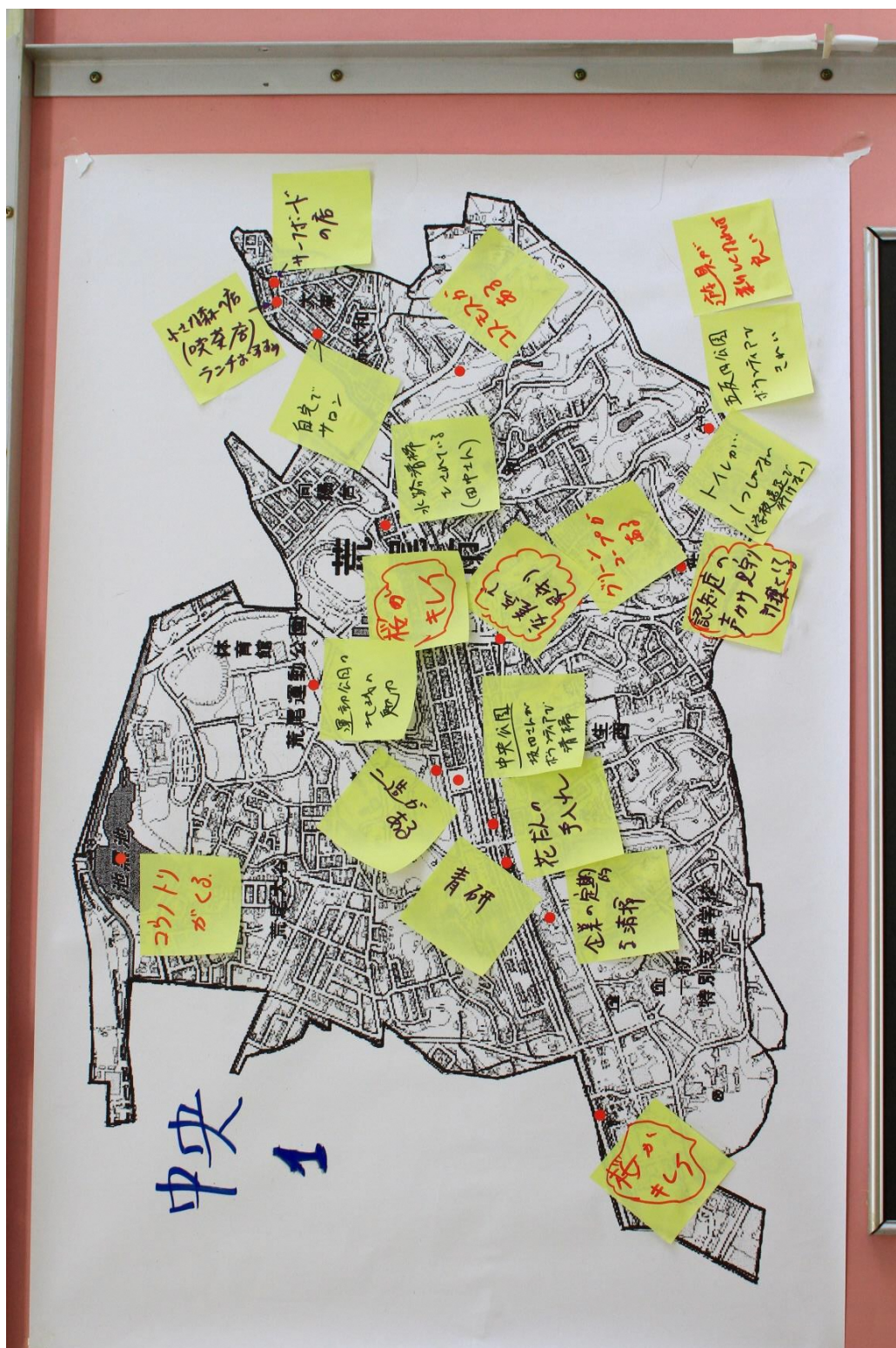
2、人と活動がいい

- ・三役が良い
- ・子供たちの仲が良い
- ・高齢者の見守りパトロールを行っている
- ・技術や知識を持った人材が豊富

3、環境がいい

- ・万田フラワーガーデン（2）
- ・深瀬が丘団地の環境が良い
- ・万田公園の桜

【中央地区で出た主な資源】



中央地区 第一回ワークショップレポート

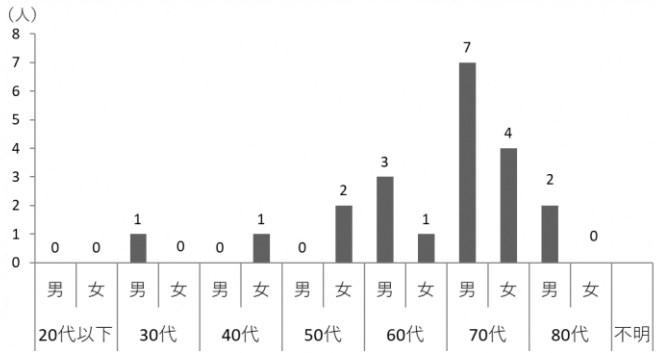
荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【中央地区】
日時：8月17日（土） 19時～
場所：中央区団地集会所
参加者数：21名

【中央地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

中央の困りごと

【自治会】
・自治会に入らない人、抜ける人が多くなっている
・地域のために動く人、役員になつてくれる人がいない
→地域環境の整備ができていない
→通学路の草刈りを1人でやっている方もいる
・回覧板が止まる

【コミュニティ】
・地域の付き合いがなくなり、集まりが悪い、同じ人ばかり集まる
・子供会が少ない、ない
・公民館がない地域がある。あっても遠く、高齢者がいけけない
・地域の祭りがなくなって寂しい

【空き家】
・空き家が多い
→樹木や雑草の管理ができない
→持ち主がわからない空き家を解体したあとの空き地に草が生え、タバコのポイ捨てでボヤが発生した（市が草を刈れないか）

【環境】
・外灯が暗い、ない
・ごみのマナーが悪い
→中央公園にいつもごみがある
リサイクルの場所に外部からの持ち込みもある
曜日がわかっていない人がいる

【その他】
・買い物が不便な地域がある
・車のマナーが悪い（路上駐車、車・自転車のルール）
・野良猫が多い
・バス停にタバコの吸い殻を捨てる人がいる

【中央地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】中央地区の課題と自慢

【中央地区の課題】

1. 自治会活動が円滑にいかない

- ・自治会を抜ける人が多く、入る人が少ない（3）
- ・隣近所のおつきあいが少ない（2）
- ・公民館等役員のなり手が少ない（2）
- ・行事に協力する人が少ない（高齢化率31.4%／市内10位）

3. 地域環境が整っていない

- ・空き家が多く、雑草や木などが問題
- ・中央公園にゴミがある
- ・買い物をするところがない

【中央地区の自慢】

1. 花・自然がいっぱい

- ・桜がきれい（中桜祭など）
- ・花いっぱい運動が盛ん
- ・コウノトリも飛来する

2. 地域を見守る人がいる

- ・交差点で毎日見守りをしてくれる
- ・認知症の声掛け訓練をやっており、地域で活動している

3. 環境がいい

- ・スポーツ関連施設が身近
- ・商業施設・病院が近い
- ・交通の便がいい
- ・中央公園がある
- ・五反田公園がある

中央地区の自慢

【イベント】
・祭りなどの地区の行事をがんばっている
→春の市、中桜祭、夏祭、秋祭、納涼祭
住民との餅つき大会、シオン園のクリスマス会

【地域環境・自然】
・桜、コスモス、住宅の花壇などの花いっぱい運動
・公園の清掃などのボランティアを率先してやってくれている人がいる（五反田公園、中央公園、水路）
→防犯ボランティアも朝夕立っている
・病院が多い
・コウノトリが飛来している
・運動公園のウォーキングロード

【店舗・施設】
・認知症などの声掛け、見守り訓練をやっている（新生区）
・小さな森の店、サーフボードの店など特徴ある店がある
・ふくやまベーカリーがある
・大東区サロンは公民館がなくても役員宅でやっている
・青研がある
・荒尾二造がある

【人】
・長生会会長がボランティアをがんばっている

【その他】
・市民プールのおかげで中央小はプール解放がなくてたすかる
・荒尾で一番子どもが多い中央小学校の教育環境



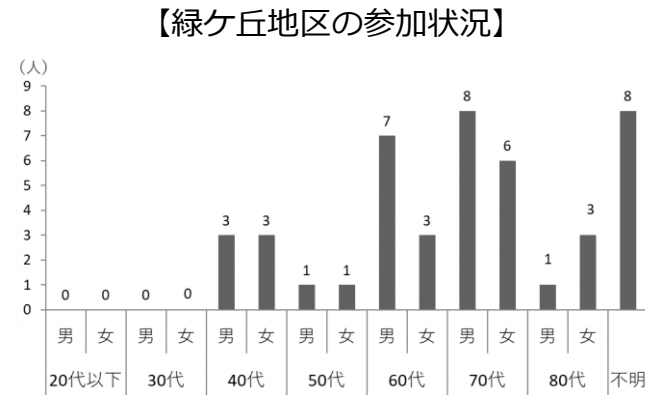
緑ヶ丘地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【緑ヶ丘地区】
日時：8月25日（日） 13時～
場所：シティホール（あらおCM内）
参加者数：44名



【各グループで出たご意見の内容】

緑ヶ丘地区の困りごと

【環境】

①空き家

- ・空き家の増加　・草がぼうぼう・雑草が目立つ
- ・岱洋中区の高齢化が進み、空き家が多い
- ・所有者が分からない　・管理ができていない

②通学路や道路、公園等の雑草、木、ゴミ

- ・通学路に草がおいしげり、草刈り機では対応できないほど大きくなっている　・道路の雑草
- ・近くに大木があり、落ち葉の掃除が大変
- ・公園の雑草が多い　・道路沿いの木
- ・リサイクル品のゴミ出しの時、テレビなどを不法投棄する人がある　・ゴミが散らかっている
- ・グリーンランドへの客が、ゴミを放置。開地区が抜け道になっている　・ゴミのポイ捨て

③飼い主のマナー、野良犬、野良猫、カラス

- ・ペットを持つ飼い主のマナーが悪く、フンの処理をしない　・猫の飼い主のマナーが悪い
- ・エサやりをする人がいる　・猫のフンと悪臭
- ・緑ヶ丘交番前の壊れそうな家と猫
- ・野良猫が来る。猫を少なくするため避妊手術の補助をしてもらえないか　・猫の放し飼いが迷惑
- ・犬のフンを放置する飼い主がいる。飼い主のマナーが悪い　・野良犬が多い　・犬のフンが多い
- ・カラスが多く、ゴミ漁りが激しい

④騒音

- ・時々、クラクションの音がうるさい
- ・体育館からの音が響く。おばちゃんたちの声がよく聞こえる　・バイクの音がうるさい
- ・セブンイレブン公園の夜中の奇声

⑤景観

- ・道路わきに花が無くて殺風景
- ・電線の地中化をして、ほかの地域のモデル地区になりたい　・電線を地中化してほしい

【安全】

①道路の安全

- ・県道を横断する歩道に信号がない
- ・トラックの交通量が多すぎる・地域外の車の出入
- ・交通事故が多い　・違法駐車、一時停止違反
- ・イモトの前にトラックが多くて危ない
- ・自転車のマナーが悪い・自転車が危ない（歩道）
- ・道路幅が狭く、歩道、路面ががたがた
- ・老人が安心して歩けるがところが少ない
- ・側溝が枯れ葉などで詰まっている、雨水があふれ出して危ない　・道路の白線が見にくい
- ・グリーンランドへの客が、細い道を通る
- ・地域外からの車がスピードを出し過ぎ

②防災

- ・一人暮らしの一次避難所が遠い
- ・緑ヶ丘地区をモデルに、電線を地中に埋めて災害に強い町にしてほしい

③街灯、防犯

- ・団地内に街灯がほしい　・5丁目付近が暗い
- ・町が暗い　・街灯が少ない、大量にほしい
- ・安全な明るい町にほしい
- ・住民が多い割には街灯が少なく、歩道が暗い
- ・団地内に防犯カメラがほしい・不審者が多い

【不便】

①公共施設不足

- ・公民館がない、集う場がない（緑ヶ丘集会所を使っている）　・野球をする場所がない
- ・子どもの遊び場、スポーツの練習場がなく、毎回市民体育館を予約し、お金を払って使っている。小中学校の体育館を開放してほしい
- ・子どもが遊ぶところがなく、イオンモールに行っている　・遊ぶ場所
- ・地域スポーツのため、小中学校の体育館を開放してほしい

- ・子どもの遊び場が少なく、外で遊ぶ子が少ない
- ・遊園地をつくってほしい

②買い物、公共交通、総合病院がない

- ・開地区は約半数が65歳以上。買い物や病院が不便
- ・原万田方面へのバスの便がほしい・飲食店が少ない
- ・総合病院などで送迎をしてもらえないか
- ・バスの本数が少なく買い物不便・移手段がない
- ・駅へのアクセスが悪い・夜間のバスが少ない
- ・開地区は、高齢者の買い物不便、送迎バスを希望
- ・市民病院へのアクセス
- ・バスが少ない。一時間に1本は巡回バスがほしい

【地域のつながり】

①自治会

- ・高齢者が多く、班長など役割分担がしづらい
- ・自治会、公民館がない（岱洋地区）
- ・町内会に入らない人が増えた
- ・役員の成り手がいない
- ・マンション自治会の役員の成り手がいない（みどり、青葉区）　・自治会に入らない
- ・自治会を脱会する人が出てきた
- ・自治会の仕事が大変　・自治会の高齢化
- ・若い人が自治会に入りたがらない
- ・班長などの役員をするのを嫌がる

②子ども会

- ・子ども会の加入者が少ない

③地域行事

- ・夏祭りのスタッフ集めが大変（岱洋地区）
- ・地域の行事の参加率が下がっている
- ・地域行事への参加がない（青葉区）
- ・いきいきサロンの参加者が少なく、もっと増やしたい

【その他】

- ・2つの地域（開と緑ヶ丘）が一つになっているので、心理的な距離がある
- ・高齢化（岱洋地区は70歳以上44%）
- ・高齢者の一人暮らしが多い
- ・高齢化が進んでいる（岱洋中区）
- ・別当塚の管理を区だけで対応するのは難しい
- ・学校の夏休みが長く、子どもの昼ご飯に困る。子ども食堂が欲しい
- ・市のモデル地区にしてほしい
- ・小学生の登校の仕方が悪い
- ・文句だけ言う人がいる

緑ヶ丘地区の自慢

【史跡、歴史】

- ・別当塚など古墳　・登り窯跡
- ・歴史的なもの（宮崎兄弟）　・孫文
- ・民家の庭先に碑がある

【自然、花、景観】

- ・閑静な、きれいな住宅街　・ウグイスが鳴く
- ・緑がいっぱい　・桜の花道、並木
- ・緑ヶ丘小の緑がきれい　・梨園がある　・成田山

【施設】

①娯楽

- ・娯楽施設が充実（ボウリング、ゲームセンター、パチンコ、カラオケ）　・温泉

②文化、市民交流

- ・文化センター・みどり蒼生館（地域の交流拠点）

③教育

- ・小中学校がある　・保育園　・学童がある
- ・運動場が広い（学校）　・文化祭

④観光

- ・グリーンランド　・ホテルがある

⑤高齢者関係

- ・ケアポート緑ヶ丘　・老人ホームがある

【利便性】

①生活

- ・シティモールが便利　・コンビニが多い　・交番
- ・買い物が便利（大型店多い）　・中山亭
- ・飲食店が多い（焼肉、ピザ、ラーメン、パン、カフェ、タピオカ）　・本屋さんがある　・葬儀場
- ・とくながまんじゅう、おいしい　・イモトがある
- ・美容院が多い　・銀行や郵便局がある　・消防署
- ・GG公園（グラウンドゴルフ）　・かえで公園

②医療

- ・病院が充実

③公共交通

- ・公共交通機関が充実

【人、活動】

- ・子どもたちが多く、元気
- ・朝から学校の先生が見守りをしている
- ・ボランティアあすなる会の環境整備
- ・市民サービスセンターがあるので助かる
- ・日曜日に朝市　・みどりまつり（地区協の活動）

【その他】

- ・スクランブル交差点が危なくない　・公園が多い
- ・プリチストン　・管理されたマンションがある
- ・バイパスができて静かになった
- ・文化の殿堂
- （さまざまな施設が集積している荒尾の中心地）
- ・私たちが住んでいる　・ゆりかごから墓場まで
- ・ヒロシ　・西村赤音　・メガソーラー

【緑ヶ丘地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】緑ヶ丘地区の課題と自慢

【緑ヶ丘地区の課題】

1. 環境

- ・空き家の増加、管理がされていない（3）
- ・通学路や道路、公園等の雑草、木、ゴミ（3）
- ・飼い主のマナー、野良犬、野良猫　・騒音

2. 安全

- ・町が暗いので、街灯が必要（3）
- ・道路が安全でない（2）
- ・一次避難所が遠い

3. 不便

- ・買い物、公共交通の便が悪い（3）
- ・公共施設の不足（2）

4. 地域のつながり

- ・自治会役員のなり手がいない（2）
- ・地域の行事の参加率低下（2）
- ・子ども会の加入者が少ない

5. その他

- ・地域が離れている、高齢化が進行
- ・別当塚の管理を区だけで対応するのは難しい

【緑ヶ丘地区の自慢】

1. 高い利便性

- ・病院が充実、近くて安心（7）
- ・買い物がしやすい（シティモール、大型小売店含む）（6）
- ・銀行や郵便局がある（2）
- ・交通機関が充実

2. 史跡

- ・別当塚　　・登り窯跡

その他

グリーンランド（2）
緑が多い（2）

人口（子ども含む）が多い

【平井地区で出た主な資源】



平井地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

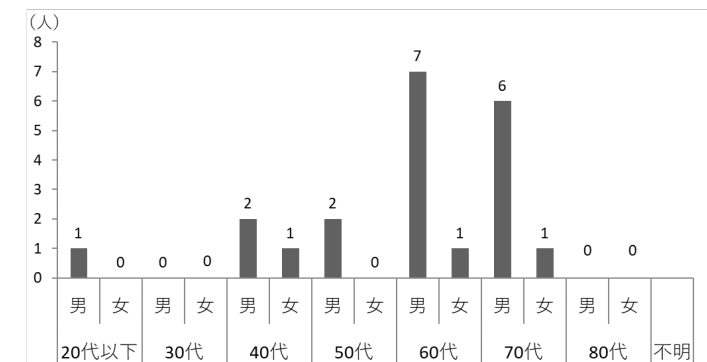
第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【平井地区】

日時：9月7日（土） 19時～
 場所：みどり蒼生館
 参加者数：21名

【平井地区の参加状況】



平井地区の困りごと

【地域のつながり】

- ・地域の役員の成り手不足
- ・自治会未加入世帯への周知方法
- ・自治会未加入世帯の状況が全く分からない
- ・自治会加入率が低い ・消防団員が少ない
- ・新転入世帯の半分は自治会未加入
- ・自治会未加入世帯に広報が配られていない
- ・行事への参加が少ない
- ・隣近所への気配りが希薄
- ・よかれと思って草刈りしても文句を言われる

【環境】

①空き家、空き地

- ・空き家が多い、管理不十分
- ・空き地の管理がされず放置されている

②ゴミ

- ・車からゴミをポイ捨てする人がいる（同じ人が繰り返している？）
- ・ゴミのポイ捨て。空き缶の半分はビール
- ・ロードクリーン（花壇）にゴミが捨てられる
- ・リサイクルの仕分け、マナーが悪い

③道路や公共の場、神社などの雑草

- ・歩道の草取り ・橋の草刈り、掃除
- ・刈った草を放置しているので、市で回収してほしい
- ・お宮（上井手）の草や落ち葉、木が大木になり過ぎ
- ・庄山から4-3格納庫までの草木が生い茂っている

④イノシシ

- ・イノシシ対策の補助を6万円から10万円に

【安全】

①道路

- ・歩道が途切れている ・狭い橋
- ・長田自動車の交差点が危ない
- ・歩道がない（平井小学校までの通学路）
- ・道参坂を県外の人が通る
- ・私有地があり、道の整備が進まない
- ・狭い道が抜け道になっている
- ・唐池に歩道が少ない

②防災

- ・災害の影響を受けやすい（地滑り）
- ・地震対策が弱い
- ・防災マップに記載されている電話番号が一つしかない
- ・リサイクル置き場の火災が心配
- ・物置補助が10万円しかない

【不便（交通、買い物、病院、上下水道、道路の混雑）

- ・交通の便が悪い、車がないと不便
- ・より道が嫌。乗り合いタクシーは使ったことがない
- ・買い物が不便、お店が近くにない
- ・高齢で車の運転が怖くなってきたが、運転できなくなると買い物ができなくなる
- ・免許返納対策がない
- ・移動販売車の補助金
- ・以前は移動販売が来ていた（買い物支援が少ない）
- ・朝や、花火大会で県道が混む（杉本、庄山交差点）
- ・下水道整備がない
- ・水道が来ていない（庄山、金屋）
- ・井戸水検査をどこでしていいかわからない
- ・聖人原交差点の混雑
- ・バイパスの信号が長く渋滞する
- ・道路が混雑する ・信号待ち2分30秒
- ・病院がない

【高齢化、見守り】

- ・50代の方への見守りが不十分
- ・高齢化が進んでいる ・若者が少ない
- ・独居世帯

【その他】

- ・耕作放棄地がある、畑が荒れている
- ・過疎化対策が不十分
- ・子どもを見る施設があれば
- ・若い人が結婚してない（金銭的問題）
- ・上井手よど祭りがなくなった

平井地区の自慢

【岩本橋】

- ・鯉のぼり祭り
- ・さくら道、桜がきれい
- ・眼鏡橋

【平井小学校】

- ・歴史がある
- ・平井小からの景色

【伝統、社寺、史跡、歴史】

- ・小代焼窯元
- ・大仏（慈照院）
- ・平山天満宮
- ・唐崎宮
- ・本井手神社
- ・権現宮
- ・別当塚古墳
- ・平井城跡
- ・津麻の墓（命日に供養を行っている）
- ・首塚
- ・三ノ宮
- ・文化財が多い
- ・炭鉱があった

【自然、花】

- ・菖蒲園
- ・ホタル、ホタルの里 ・隕石
- ・小岱山の田園風景
- ・（平山）道路沿いの花壇（数人で管理）
- ・前岳の北側ふもと 眺めがいい
- ・（上井手）ウォーキングコース

【商業施設、飲食店】

- ・高専ダゴ ・ピザ屋アベント
- ・バーベキューハウス HAYASHI
- ・オーガニックレストラン アルバード
- ・コメリ ・セブンイレブン

【人、活動、公的施設】

- ・ときめき市・お年寄りが元気
- ・（上井手下）子どもの数が増えている
- ・地域活性化の取り組みがすごい
- ・防災訓練等の取り組みに熱心（平井小拠点）
- ・上井手公民館いきいきサロン
- ・サロンの取り組みに熱心
- ・各区に拠点（公民館）がある

【その他】

- ・梨、梨園（2）
- ・市長、副市長の家がある ・みかん（2）

【平井地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】平井地区の課題と自慢

【平井地区の課題】

1. 地域のつながり、自治会

- ・役員の後継者不足（2）
- ・近隣への気配りが希薄

2. 環境

- ・過疎化対策
- ・空き家が多い

3. 暮らしの不便

- ・買い物が不便（2）
- ・交通手段不足

4. 安全

- ・道路が危険（2）

【平井地区の自慢】

1. 岩本橋（4）

- ・鯉のぼりまつり
- ・さくら道
- ・眼鏡橋

2. 慈照院の大仏さん（2）

3. ホタルの里（2）

4. 平井小学校（2）

- ・歴史
- ・ここからの眺め

その他

- ・高専ダゴ
- ・防災の取り組みに熱心

【府本地区で出た主な資源】



府本地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【府本地区】

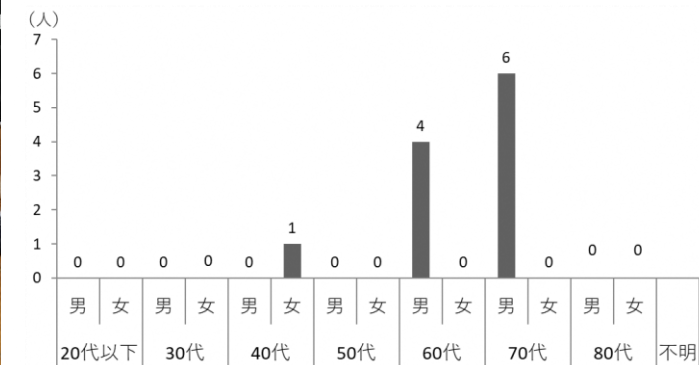
日時：8月26日（月）

18時30分～

場所：府本小プレイルーム

参加者数：11名

【府本地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

府本地区の困りごと

【コミュニティ】

- ・老人会がなくなり、活躍の場がなくなった
- ・学校が廃校になりそう（子どもが少ない）
→危機感がある、学校を活用した取組みを
- ・農作業を個々で行っており、住民同士の関係性が低くなっている
- ・祭りを開いても来てくれない（若い人）
- ・若い人とのつながりがない
- ・大人と子どもの関係が希薄

【人材】

- ・役員・民生委員のなり手が少ない
- ・行事の担い手が少ない
- ・通学路の草刈りをする人が少ない
- ・地域のために働こうと思う人が少ない
- ・地域の役職を外れると引き続きの参加がない

【危険】

- ・防災無線がほしい
- ・イノシシが増えている
- ・登下校の道が悪い
- ・災害時の避難場所が遠い

【不便】

- ・緊急車両の通行が難しい
- ・店が少なく高齢者の買い物が不便
- ・免許返納した後の移動手段がない
- ・下水道がこない
- ・交通手段（バス）が少ない
→バス停も遠い

【樹木の管理】

- ・樹木が肥大化し管理できにくい

【空き家】

- ・空き家問題が多い

【その他】

- ・放棄地・道路問題
- ・コンパクトシティ圏外の活性化策がなく、疎外感がある
- ・山付きエリアに引っ越す人が少ない
- ・ものを燃やしている人がいて洗濯物が干せない
- ・開発許可の基準が厳しい
- ・リサイクルマナーが悪い

【府本地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】府本地区の課題と自慢

【府本地区の課題】

1、交通アクセス・道路

- ・公共交通機関が足りない（2）
- ・道が狭い
- ・救急車も入らない
- ・登下校の道が悪い

2、地域コミュニティの維持

- ・地域のコミュニティが維持できていない
- ・役員のなり手が少ない
- ・子どもが少ない
（高齢化率37.1%／市内2位）

その他

- ・樹木が管理できていない
- ・農業後継者不足

【府本地区の自慢】

1、小岱山

- ・小岱山（3）
- ・小代焼
- ・府本の自然（トキワマンサクなど）

2、史跡

- ・賀庭寺を含む史跡
- ・府本の伝統

3、府本小学校

- ・府本小の茶畑
- ・府本小

その他

- ・食べ物がおいしい
（米、スイカ、みかん）

府本地区の自慢

【地域環境・自然】

- ・小岱山 ・唐戸岩
- ・市の駐車場にトキワマンサクが咲く
- ・硯川の花しょうぶ
- ・ホタル（菜切川・行末川）
- ・鶏頭の花 ・ヒガンバナ
- ・金山スイカ
- ・金毘羅山からの景色
- ・菜切川の景観 ・小岱山の水
- ・小岱松の肌がきれい（珍しい）
- ・防災林道
- ・海と山がある

【人材・地域活動】

- ・紅葉ウォーク
- ・オリーブ畑
- ・野菜を貰える

【史跡・文化】

- ・小代焼
- ・賀庭寺の石塔群
- ・かたびら市
- ・府本小の茶畑と茶摘みの伝統
- ・毘沙門天 御成門
- ・梅尾城跡
- ・夕夕ラ製鉄の跡地

【施設】

- ・お宮が多い

【その他】

- ・地名が面白い（難読）
- ・みかんがおいしい
- ・お米がおいしい
- ・登山客が増えている

【八幡地区で出た主な資源】



八幡地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

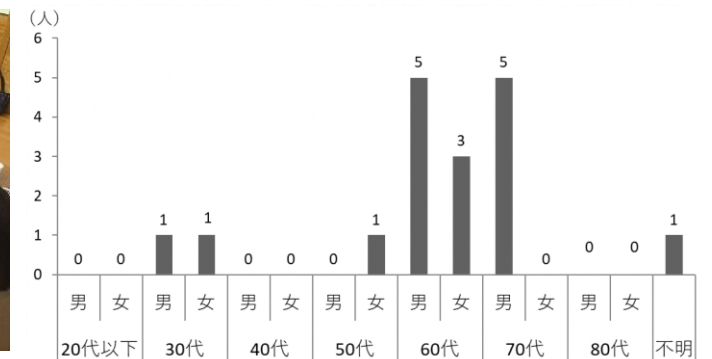
第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【八幡地区】

日時：9月7日（土） 10時～
場所：小袋工芸館
参加者数：17名

【八幡地区の参加状況】



八幡地区の困りごと

【地域のつながり】

- ・行事に出てこない、無関心
- ・人のつながりが薄く情報交換が少ない、手段がない
- ・若い世代の孤立

【地域の人材不足】

- ・農業（梨山）の後継者がおらず、耕作放棄されている
- ・役員の後継者不足 ・消防団員不足
- ・10年後ますます人がいなくなるのではという不安
- ・子どもが少ない
- ・団地の年齢層が高い、若い人が少ないから電球の交換など行き届かないところが多く日常生活に影響がある
- ・核家族化 ・団地に高齢単身世帯が多い
- ・地域の高齢化

【安全】

- ・道路が狭く緊急車両が入れない
- ・通学路の道が狭く、学校前は歩道がないのに交通量が多い、車の抜け道になっている、通学路に草木が茂っている
- ・道路標示が老朽化して見えない
- ・街灯が少ない

【環境、マナー】

①ゴミ

- ・リサイクルゴミの違反が多い
- ・ゴミのポイ捨てが多い（地域外の人、八幡台から国道へ行く道）
- ・工芸館から団地までの道にいつもゴミが捨ててある

②空き家、空き地、雑草、樹木管理

- ・空き家が多い、空き家の雑草
- ・草刈り、樹木の管理ができていないところがある
- ・所有者が分かっているにもかかわらず管理されない土地の草木

- ・団地の空き部屋の空き年数が長い
- ・団地空き室が多く、町内会費が不足

③悪臭、獣害、害虫

- ・野良猫が多い、エサやりをする人がいる
- ・八幡台の下水処理場が臭い
- ・八幡台2丁目の浄化槽が臭い
- ・八幡台2丁目の浄化槽からの排水の影響で川遊びができない
- ・排水のゴキブリが多い
- ・ゴミを荒らすカラス、犬が多い
- ・鳩のフンが多い

④施設、設備不足

- ・リサイクルステーションの確保が困難
- ・八幡台2,3丁目には公民館がない

⑤暮らしの不便

- ・病院が少ない
- ・交通手段が不足
- ・バス停まで遠い
- ・近くにスーパーがない

【小岱焼】

- ・小岱焼の窯元がある（3）
- ・ちひろ窯 ・小岱工芸館

【利便性】

- ・店がある（24時間の店、夜も開いている）
- ・（八幡台）歩いて買い物に行ける
- ・小学校、中学校が近い
- ・あらおシティモールが近い
- ・バスが通っている

【発展、開発】

- ・（川登）新しい家が建ち開発が進んでいる
- ・（八幡台）家の建築が盛ん

【その他】

- ・農業用水が多い、農地が整備されている
- ・牧場がある ・金社宮（月に1回掃除）
- ・カラスの行水（2～3月）
- ・コミュニティの支え合い

【八幡地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】八幡地区の課題と自慢

【八幡地区の課題】

1. 通学路、道路の危険

- ・道路が狭く緊急車両が入れない
- ・通学路の道が狭く、学校前は歩道がないのに交通量が多い、車の抜け道になっている、通学路に草木が茂っている
- ・道路標示が老朽化して見えない
- ・近所の子の木の枝が道路に垂れている

2. 地域のつながり

- ・行事に出てこない、無関心
- ・高齢で地域活動作業に出てこない
- ・人のつながりが薄く情報交換が少ない

3. 暮らしの不便

- ・病院が不足
- ・スーパーがない
- ・バス停が遠い
- ・公共交通手段が不足

その他

- ・雑草、樹木管理不足
- ・下水処理場からの悪臭
- ・リサイクル分別違反
- ・若い人を残すための企業誘致

【八幡地区の自慢】

1. のばらさん（野原八幡宮）（4）

- ・お祭り
- ・伝統芸能「風流」「節頭」
- ・桜、藤棚がきれい
- ・桜と歴史

2. 荒尾梨（4）

- ・販売所がある
- ・荒尾の宝、梨山
- ・梨の花がきれい
- ・梨の花ウォーク

3. 赤田公園（2）

- ・ボートに乗れる
- ・釣りができる
- ・ふるさと公園

八幡地区の自慢

【のばらさん】

- ・伝統芸能「風流」「節頭」
- ・桜、藤棚がきれい ・祭り ・歴史

【荒尾梨】

- ・梨の販売所 ・荒尾の宝、梨山
- ・梨の花がきれい

【池、公園、ウォーキングコース】

- ・赤田池（ボート、釣り、公園、桜）
- ・池が多く、釣りができる
- ・荒尾で最大、釣りができる大浦池
- ・昔はハスの花があった
- ・冬場はカモがいる池

- ・池が多く、子どもたちが釣りを楽しめる
- ・（川後田）西に雲仙が見える素晴らしいウォーキングコースがある

【自然、風景、花】

- ・（八幡台）菜切川の蛍 ・同、桜
- ・八幡台地区から東の景色が良い
- ・野原のしだれ桜
- ・菰屋南などの田園風景
- ・小岱山の景色 ・自然豊か
- ・エビやクラゲがいる

【有明地区で出た主な資源】



有明地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

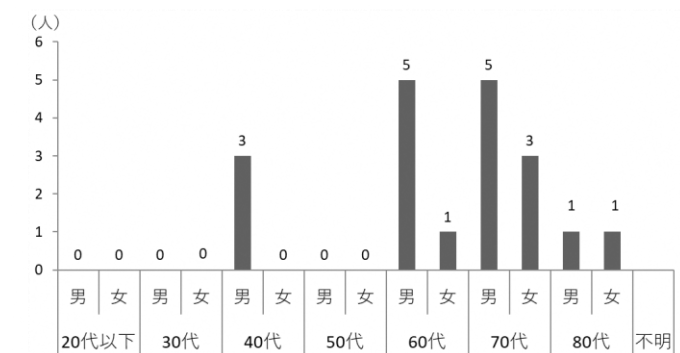
【有明地区】

日時：8月29日（木） 18時30分～

場所：人権啓発センター

参加者数：19名

【有明地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

有明地区の困りごと

【コミュニティ】

- ・区の集まりなどに若者が集まらない（60歳で若手）
- ・各団体の責任者が集まる会議がほしい
- ・一人暮らしが多い、地区に知らない人が多い
- ・ひきこもり支援がない
- ・高齢者の買い物支援が必要
- ・人数が少ないので、高齢者向けの総会（福祉総会）の成立判定が厳しい
- ・介護認定に時間がかかる（2カ月）
- ・認知症対応←地域にいる方をどこまで支援していいのかわからない

【その他】

- ・リサイクル、ゴミ出しのルール違反
- ・野良犬、野良猫が多い
- ・道路にはみ出ている木や草の管理がされていない
- ・魚が死ぬ←浦川が汚い
- ・ポイ捨てのにおいが気になる
- ・交通の便が悪い
- ・球技ができる公園がない
- ・国道208号の交通量が多いため合流が困難
- ・横断歩道の押しボタンが変わるのに時間がかかる（3分くらいかかる）

有明地区の自慢

【コミュニティ】

- ・花植ボランティア
- ・まかせん会（かかしが面白い）
- ・子ども見守りボランティアがいる
- ・買い物支援、見守り支援、生活支援
- ・いきいきサロン連携が良い、いろいろ活動している
- ・地区協議会の雰囲気が良い
- ・民生委員の欠員が少ない

【環境】

- ・堤防壁面がきれい
- ・シーズンにタコが取れる（3～4月）
- ・南荒尾駅がある
- ・児童センターがあること
- ・病院が近い
- ・展望（有明海が一番よく見える）
- ・改修して水没しなくなった
- ・クワガタ、カブトムシがとれる
- ・城跡、天神の木
- ・カワセミがいる
- ・公民館が広い
- ・魚釣り
- ・道が広い、事故減
- ・海から離れており、災害のリスクが少ない

【その他】

- ・南増永の伝統行事
- ・公民館を作ろうとしている取り組み
- ・パウロが美味しい
- ・ラーメン屋が美味しい
- ・空き地でGG大会ができる
- ・高齢者がいきいきしている
- ・竜宮まつり（豊漁祈願）
- ・大しめ縄若手で作れる
- ・場増永の観音堂を保存できている
- ・どんどや（場増永）盛り上がる
- ・小学校のバザー（地域ぐるみ）
- ・場増永の区長が良い
- ・自主的に社会活動する人が多い

【有明地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】有明地区の課題と自慢

【有明地区の課題】

1 人不足・役員不足

- ・区の後継者がいない（3）
- ・有明公園の草刈りボランティアが難しい（新しい草刈り機が欲しい）
- ・老人会の活性化（高齢化率36.0%/市内4位）

2 暮らしに不便・安全ではない

- 空き家・空き地が多い
- お店が少ない（3）
- 通学路が危ない、道が狭い（2）
- 一部橋が危ない（歩道がない）

【有明地区の自慢】

1 有明海・海

- ・有明の干潟湿地ビジターセンター（4）
- ・豊かな海（夕陽が綺麗）（3）
- ・海の美術館

2 地域活動

- ・地域のまとまりが良い（地域活動）（3）
- ・有明公園（ふれあい祭り）（2）

3 史跡・施設

- ・猫宮神社
- ・有明小学校

【清里地区で出た主な資源】



清里地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

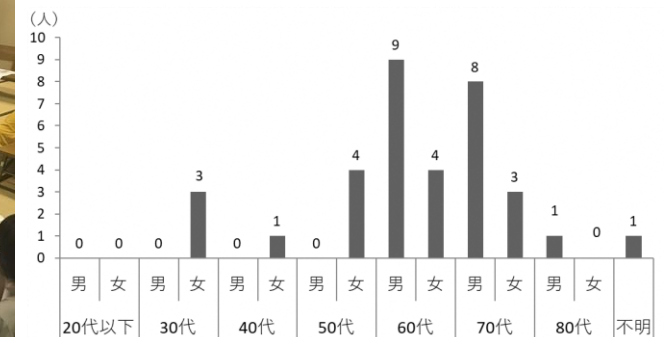
【清里地区】

日時：8月22日（木） 18時30分～

場所：小野公民館

参加者数：34名

【清里地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

清里の困りごと

【コミュニティ】

- ・一人暮らしで何かあったら不安（緊急連絡）
- ・海岸清掃等の地域行事に出る人少ない

【環境】

- ・交差点の見通し悪い（雑草）
- ・浦川圃場内畑地の道の舗装が平成元年からできていない
- ・畑や官地（国有地）が荒れている
- ・ヤシ、竹の管理ができていない
- ・牛水下、消防車が通れない道が多い。緊急の時に困る
- ・浦川の堤防を舗装
- ・地下水の塩水化
- ・猫とカラスによるフンの被害がある
- ・排水溝のにおい（水はけが悪い）

【空き家】

- ・空き家（道に入ると空き家がある）
- ・空き家が多いから雑草が茂っている

【その他】

- ・リサイクルのルールが守られていない
- ・買い物コミュニティバスとかない
- ・バス停がない
- ・投票所（清里保育園・牛小上公民館）に外灯がなく暗いので選挙場所を清里小にしてほしい
- ・市役所人事異動で、依頼事項などの情報が引き継がれていない
- ・土日に（土木関係）相談したいけど、市役所が空いていない
- ・住民票などの発行を自動化してほしい
- ・通勤者の車のマナーが悪い
- ・土日・夜間保育の場所がない
- ・子どもが少ない（約80人）ので役員を続けられない
- ・清里保育園はどうなるのか不安
- ・子どもたちの自転車のマナーが悪い

清里地区の自慢

【環境】

- ・市民農園
- ・潮干狩り（清里小）
- ・水野公園
- ・二の宮八幡宮
- ・公民館で筋トレを週2回している
- ・春の芝桜が美しい
- ・児童公園（グランドゴルフの練習ができる）
- ・荒尾市の水源地
- ・いつも通学路の清掃してある
- ・御祖神社の樹木が茂って、自然が残っている
- ・バイオマス発電所
- ・中川オリーブ園

【活動】

- ・清里校区の運動会と球技大会
- ・清里小学校5年生に親子料理をしている

【その他】

- ・保育園、学校の花壇
- ・高浜公民館前に花菖蒲の花壇があり、綺麗
- ・マジック・タコ・アサリがたくさん
- ・若い世代が増えている、アパート増えている
- ・ステキなカフェがたくさんある
- ・清里の森が美しい
- ・カワセミがいる
- ・清里地区で祖父母、親が育ち、名前を言えば会話がスムーズになる
- ・働く場所がある
- ・住民同士の仲がとても良い

【清里地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】清里地区の課題と自慢

【清里地区の課題】

1 生活が不便

- ・公共交通不便（バス本数少ない）[4]
- ・店（スーパー）が少ない[3]
- ・買い物する場所がない。車がないとできない。
- ・ゴミ捨て（燃えるゴミetc）車が家の近くまで来ない。持っていかないといけない
- ・道路が狭くゴミ出しが大変（遠い）

2 安全ではない

- ・長洲板金の点滅信号機、事故もある[2]
- ・清里ではないが、市屋のガードの所が渋滞する、通勤が困る
- ・街灯が少ない

その他

- ・沿岸道路を延ばす
- ・役員の後継者がいない（高齢化率36.6%/市内3位）

【清里地区の自慢】

1 自然が豊か

- ・干潟、夕陽がきれい
- ・海が見える、夕陽が綺麗、鳥がいっぱい
- ・ホタル

2 小学生がいい

- ・子どもの仲が良い（清里小）
- ・小学生が挨拶をしてくれる

3 施設/史跡がある

- ・一の宮（野原八幡宮）、二の宮（高浜）、三の宮（下井手）
- ・警察署・温泉・病院がある

その他

- ・東田さんの畑のタマネギ
- ・限界集落（JR南荒尾駅から西側）
- ・清里地区では自然災害がない

【桜山地区で出た主な資源】



桜山地区 第一回ワークショップレポート

荒尾市では、人口減少が続く中でも、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりを行うため、今年度、まちづくりの計画（総合計画）を策定します。計画策定にあたって、住民の皆さんが感じている普段の困りごとを語り合う、ワークショップを開催しました。

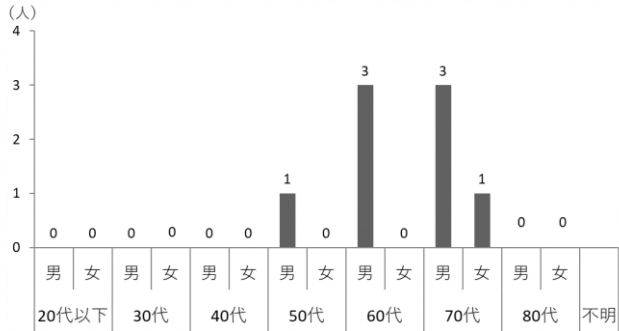
第一回は、地区の「困りごと」「自慢」を各グループで出し合い、重要度が高いものを3つずつ選びました。

今後は、話し合った内容を基に、地区の計画としてまとめていく予定です。

【桜山地区】
日時：8月19日（月） 18時30分～
場所：桜山中央集会所
参加者数：8名



【桜山地区の参加状況】



【各グループで出たご意見の内容】

桜山地区の困りごと

【自治会】

- ・町内役員が1年毎にくじ引きで交代
- ・町内会費を払えばあとはお任せという人がある
- ・仮に住んでいるだけという意識の人がある
- ・自治活動に否定的になっている(町内会費を払わない人がある)

【コミュニティ】

- ・参加する人の固定化
- ・若い人が参加してくれない
- ・町内会にも行政の支援が必要ではないが(区長手当)コミュニティスクールよりもまずは町内会の絆作りが大事
- ・老人会、子ども会の消滅

【その他】

- ・住民同士のトラブルが多い
- ・梨山の後継者が減っている、やめる人が増えている
- ・雑草が多い、草取りをしているのは高齢者
- ・ボランティア精神の低下
- ・子どもが歩いていない
- ・町が全体的に暗い
- ・避難所の桜山小のトイレが少ない
- ・避難所が遠い(1次2次は開かない)
- ・小学校が活用できていない(避難所以外)
- ・学校が非協力的。体育館や運動場を貸してもらえない
- ・交通の便悪い(バスの本数が少ない)
- ・一人暮らしの人が多い(高齢)
- ・住民票が動いていない
- ・駐車のマナーが悪い

桜山地区の自慢

【活動】

- ・美化活動ボランティア
- ・生活支援ボランティアをする人がある
- ・ボランティアによる防犯パトロール
- ・桜山げんきかいによる地域活動
- ・NPO活動をされている

【環境】

- ・災害が少ない
- ・小学校が近い
- ・散歩コースがある
- ・坂が多く自然のトレーニングコースになっている
- ・コウノトリが飛来
- ・区画整理されており、道が整備されている

【桜山地区で重要度が高い、課題と自慢のまとめ】

* 数字は同じ項目を重要と選んだグループの数

【まとめ】桜山地区の課題と自慢

【桜山地区の課題】

1 人手不足・連携不足

- ・地域活動に消極的。地域内で連携ができていない[3]
- ・民生委員・行政協力員などの高齢化(高齢化率35.9%/市内5位)
- ・住まいはあるが、住民票が他地域という住民世帯があり、町内会に入らない

2 リサイクル・ゴミ出し

- ・リサイクル当番、ゴミ出しルールが徹底されていない[2]

その他

- ・空き家による災害が心配
- ・商店がない

【桜山地区の自慢】

1 住民・ボランティアの活躍

- ・町内会長が若い
- ・高齢者が頑張っている(活動に参加)
- ・ボランティアで管理されている綺麗な花壇

2 桜

- ・桜山という地区名が良い
- ・西公園(ぞうさん公園)の桜が綺麗[2]

その他

- ・郵便局・コンビニがある
- ・三段池にホタルがいる